


〈解答〉

- ① (1) 1016hPa      (2) ① イ ② イ (完答)  
 (3) イ              (4) 天気図 2図 気圧 A (完答)  
 (5) エ              (6) ① ア ② イ (完答)

配点 各1点 6点満点

〈解説〉

- ① (1) 等圧線は、1000hPa を基準の太線として 4 hPa ごとに細線で引き、20hPa ごとに太線にする。1 図に X で示した位置の東側にある高気圧の中心気圧は 1022hPa なので、その高気圧のすぐ外側の太い等圧線は 1020hPa のものであることがわかる。したがって、X で示した位置の気圧は  
 $1020 - 4 = 1016$  [hPa]  
 である。
- (2) 周囲よりも中心の気圧が高くなっているところを高気圧、低くなっているところを低気圧といい、中心の気圧の値は 1 気圧 (1013hPa) に比べた高低とは無関係である。したがって、中心の気圧が 1 気圧よりも低い高気圧もあり、1 気圧よりも高い低気圧も存在する。
- (3) 日本列島を含む、北緯30度から60度の中緯度帯の上空 (5 ~ 7 km) には、偏西風という強い (50m/s 以上) 西風が一年中ふいている。そのため、前線をともなった温帯低気圧や移動性高気圧は、およそ西から東へと移動していく。2 図では日本列島の西の大陸上にある、前線をともなう低気圧が、3 図では九州のすぐ西にあり、1 図では北海道付近にあることから判断する。
- (4) 4 図に記された天気記号より、ほぼ一日中天気がよかったことがわかる。したがって、4 図は、日本列島に前線がまったくかかっていない 2 図の日のものである。また、天気がよい日には、最低気温は日の出ごろ、最高気温は 14 時ごろに記録され、気温と湿度はほぼ逆の変化をするので、C が気温、B が湿度の変化を表すグラフとわかる。よって、気圧の変化を表すグラフは A である。
- (5) 空全体の面積を 10 としたときに、空全体に対して雲が占める割合を雲量という。雨や雪などの降水がない場合には、雲量 0 ~ 1 を快晴、2 ~ 8 を晴れ、9 ~ 10 をくもりとする。なお、一般の天気図で天気を表す主な記号として、右の図のものを用いる。
- 
- 快晴   晴れ   くもり   雨   雪
- (6) 風向とは、風がふいてくる方角のことである。12 時の風向は北北西なので、北北西から南南東へと風がふいている。したがって、工場の煙などは南南東の方角に向かって流れていた。